

アジア太平洋地域での気候正義に基づいた 1.5度目標達成に向けた調査・提言活動

活動地域  アジア



COP26で現地の気候正義運動に参加

課題

1.5度目標達成及び途上国での気候変動被害対策が「当該支援策に途上国の声が反映されておらず」、「先進国による途上国への適切な支援」となっていない。

目標

1.5度目標達成のため、先進国及び途上国の温室効果ガス排出削減目標が気候正義の考え方に基づいたものまで引き上げられる。



今後の
展望

2021年度からIPCCの第6次報告書が公表され、気候変動対策の緊急性が科学的に認められた。国際的な議論と実態の差は大きいですが、アジア太平洋地域での気候正義運動を支援したい。

ひろげる助成

2年目

調査研究

活動内容と成果

2021年度は、新型コロナウイルスの影響が残つつも、COP26が開催された。COP26の開催に伴い、気候変動の国際的な議論をレポートの翻訳や交渉現場からのプログという形で発信できた。気候正義の普及啓発活動も、若者向けウェビナーを5回実施し、平均して30人ほどが参加し、「海外の気候変動政策にも目が向くようになった」「若者の気候変動アクションに参加したい」との感想が見られた。また、アジア太平洋地域の若者を対象とした研修プログラムもオンラインで継続し、6か国から約20人の参加者とともに5回実施した。



第2回スクール・オブ・サステナビリティ 2の登壇者

交渉内容の発信

10回

国際交渉に関する
報告会の実施

120人

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

33%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

国際気候変動交渉に関するレポートを翻訳したものの、そのレポートをいかに報告会の企画に難航した。

■ 工夫した点

COP26でのつながりをいかし、途上国のメンバーに途上国における損失と被害の実態に関するウェビナーを開催できた。



〒173-0037
東京都板橋区小茂根1-21-9
電話：03-6909-5983
HP：https://foejapan.org/